



# わらしべの里通信

## 2年ぶりの花見会



花見会の風景。青空の下で、お茶しています。

わらしべの家で新年度の最初の行事。それは毎年恒例の「花見会」です。4月13日の午後、栃木市内にある「永野川河川敷緑地公園」にて行いました。天気は晴天でした。

花見会に行く前日に、仲間たちに行く前の感想を聞いてみました。あの仲間は、「去年は、放射線のこともあり、花見できなかったけれど、今年は、行けてうれしいです」、「2年ぶりなので楽しみにしています」、「外で仲間たちと遊ぶのは久しぶりなので遊びたい」と話していました。

当日になり、社協のマイクロバスと施設の車3台と、計4台を使って目的地に向かいました。途中、桜が満開に咲いている所をバスで通ったら、窓から見ていた仲間たちが、「桜が満開、すごくきれいだね」と驚きました。

公園に着いてとても大きなビニールシートを

広げて一か所に集まりました。新人の仲間2人や新施設長が入って来ましたので、歓迎会をかねて行いました。新人さんは、それぞれに「よろしくおお願いします」と挨拶し、新施設長も「みんな休



## 新しい仲間たちと一緒に

3月～5月の行事										
2日	ひな祭り	3月	16日	仲間の会 誕生会(2人)	4月	13日	花見会	5月	11日	レクリエーション
20日	ゆーあい工房まつり	18日	誕生会(4人)	5月	20日	誕生会(9人)	5月	20日	誕生会(9人)	5月
21日	仲間の会 誕生会(2人)	7日	仲間の会 役員選挙	9月	10日	誕生会(4人)	8月	3日	アイスを食べる会	20日
※月の第1金曜日は、レクリエーション、第3金曜日に、仲間の会・誕生会を、仲間の会主催で行います。										
これからの行事予定										
1日	レクリエーション	6月	1日	レクリエーション	7月	22日	仲間の会	8月	20日	誕生会(4人)
6日	七夕	7月	6日	七夕	7月	22日	仲間の会	8月	20日	誕生会(4人)
6月	1日	レクリエーション	7月	22日	仲間の会	8月	20日	誕生会(4人)	9月	10日
6月	1日	レクリエーション	7月	22日	仲間の会	8月	20日	誕生会(4人)	9月	10日



花見会の風景。そこの4人、とても楽しそうですね。

まないでわらしべの家に元氣よく通所して下さい。仲間が来ないと私もさみしいです」と挨拶しました。

その後、お菓子を配られて、仲間たちは野球・サッカー・バドミントン・フライングディスク、散歩やビニールシートで休憩、携帯電話で記念撮影をしたりして、それぞれに体を動かして、汗を流しながら春のレクリエーションを楽しみました。

仲間は、「今年、桜きれいでした。楽しかった。仲間は、2年ぶりの外で楽しく遊べました」や、「野球して楽しかった」や、「芝すべりをしました。とても楽しい花見になりました」と話していました。

(PORI)



# 2011.3.11 わらしべの仲間はそのとき・・・

仲間たちの今、旬な話題を一斉調査しているほのぼのアンケート。

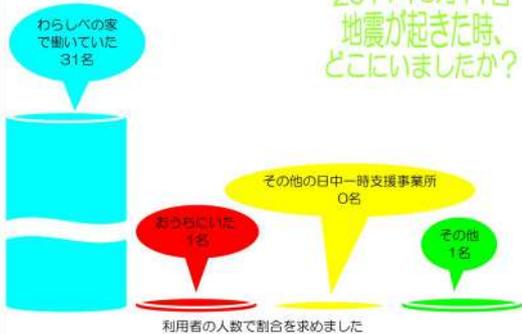
6年目となる今年のテーマは、「もうすぐ今週も終わりだから、がんばろう」と思った休憩時間あけに、みんなで経験したということで、「2011年3月11日からのこと」です。

2011年3月11日午後2時45分59秒までは、一生懸命誰もが普通の日常を送っていましたね。午後2時46分18秒、三陸沖から茨城県沖にかけての太平洋沿岸で、巨大な岩盤がずれて地震になりました。わらしべの家の仲間は、ゆっくり始まり、つきあがるようなゆれを就労時間内に味わった人が31人と最も多く、「なんだろう、このゆれ、こわい！...どうしよう...」と思いつつも、大切な友人、家族は大丈夫かなあと、心配していたようです。

利用者の人数で、割合を求めました



2011年3月11日  
地震が起きた時、どこにいましたか？



利用者の人数で割合を求めました

## 電気が使えなくなった

「今日」と「明日」は同じくめんどくさいから、1日、1日を大切にしたい...

仲間たちは、持ち場から避難し、待機していました。午後4時になり、仲間たちは停電で信号がつかないため、渋滞している栃木市内をゆっくり確実に大切な人の元へ、帰っていきま

した。電気がなく、信号がつかないということはこういうことなんだと夕闇がせまり薄暗くなりつつあるなか車のライトだけの異様な街中で身にしみました。その頃、自分たちのことで精一杯で、僕たちはまだはっきりとは知らなかったのです...。大きな津波が東北の町を襲い一瞬にして、何万人もの人たちが亡くなったことを。地震の後、地域によっては停電が夜遅くまで続きました。地震で物がさんざんしてかたづけしていたり、家族で、

顔を合わせ、無事を確認してラジオ、テレビなどで、情報収集をしていたようです。「車の中に全員いました。その中で、食べたり、話しをしていた。寝ても いました」という人も。

週明けの3月14日、連日のニュースで、この大きさを知った仲間は、みんな硬い表情で食堂に集まり、「これから、日本はどうなっていくのだろう」とつぶやいています。この日は、金坂理事長の「皆さんに会えて、ほっとしています。地球さん、動きがどうして急に活発になったのだろうか。静まるよう、祈っていきましょう」という話を聞いて、午前10時に帰りました。

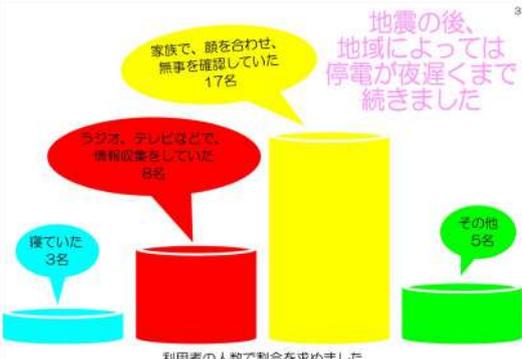
わらしべの里でも給食が作れなくなるという影響が出て、3月15日から1カ月間お弁当を持参したり、福島第1原発の事故の影響を考慮し、午後3時には家に帰る生活を3月15日から2週間続けました。

揺れているとき、どんなことを思いましたか？



利用者の人数で割合を求めました

地震の後、地域によっては停電が夜遅くまで続きました



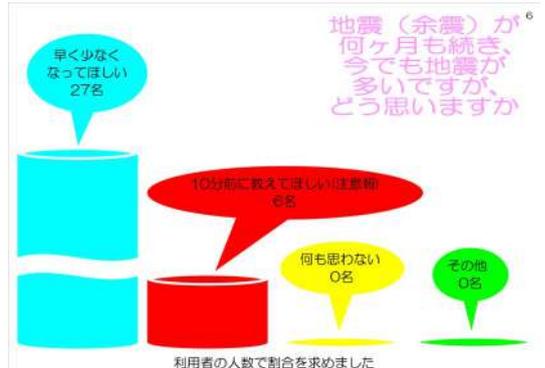
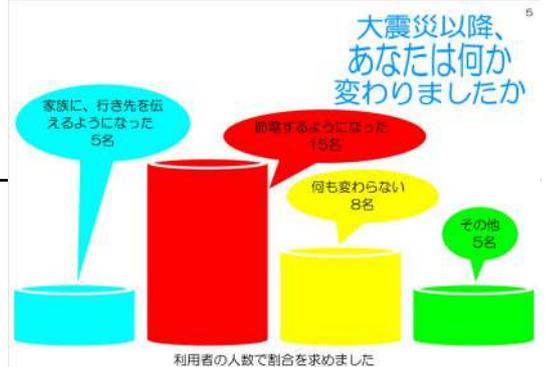
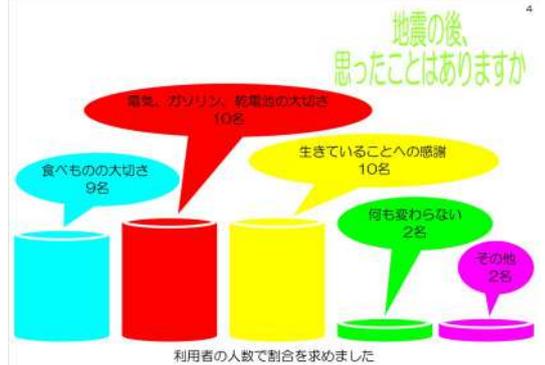
利用者の人数で割合を求めました

この2週間が特に、電力不足を補う「計画停電」が頻繁に行なわれ、わらしべの家でも、リサイクル事業やIT事業などの作業は、電気を使うため、計画停電の時間帯は停止してしまいました。このころ、思っていたこととして、生きていることへの感謝、電気、ガソリン、乾電池の大切さをあげた仲間が10人。続いて、食べ物大切さをあげた人が9人いました。

# 仕 事 が 出 来 る 喜 び

昨年3月の巨大地震の揺れが、各地に広がったのとほぼ同時に、およそ80の別の地震が起きていたことと、1年間に日本で起きた震度1以上の余震が7224回、震度4以上の余震が、231回あったことが、3月7日のニュース番組で、言われ

自動車部品組立・加工作業をしている第2作業所では、大震災の後には、夏まで仕事が少なく、少しでも注文が入ると、仕事が出る喜びを噛み締めているようでした。「大震災以降、あなたは何か変わりましたか」という質問には、節電するようになった人が15人、何も変わらない人が8人。行き先を伝えるようになった人が5人。少数意見として、ニュース・新聞を見るようになった人が2人いました。



## 「早く少なくなっただけほしい」

「早く少なくなっただけほしい」という質問には、早く少なくなっただけほしいと希望する人が27人。10分前に教えてほしい（注意報）と希望する人が6人いました。この願いは、日本人全員の願いでもありますね。将来的に社会が、スーパーコンピュータの導入を進めれば、より正確な予測が出来る、事前に伝えてくれるようになるかも知れませんね。

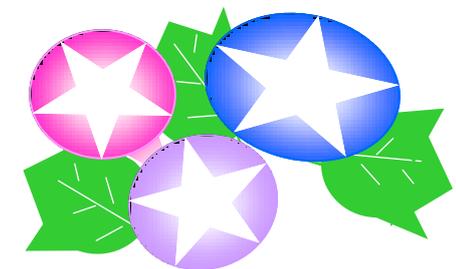


## 今も地震つづく・・・

ていました。「地震（余震）が何ヶ月も続き、今でも地震が多いですが、どう思いますか」という質問には、早く少なくなっただけほしいと希望する人が27人。10分前に教えてほしい（注意報）と希望する人が6人いました。この願いは、日本人全員の願いでもありますね。将来的に社会が、スーパーコンピュータの導入を進めれば、より正確な予測が出来る、事前に伝えてくれるようになるかも知れませんね。

## 思い出工場出荷量第1位は??

「これから間違いないが、この仕事は、仲間と楽しくすごしたい」「仕事休まず行くこと。挑戦していくこと。間違わないこと。仲間の人と仲良くし、やさしくすること。物事は、はっきり言うこと」「ドーナツが食べたいです。ポンディングが食べたいです。特に、チョコレートのドーナツが食べたいです。18個〜30個ぐらい食べたいです。鼻血がでないようにしたいです」などがありました。（パソ工房取材班）



「これからは間違いないが、この仕事は、仲間と楽しくすごしたい」「仕事休まず行くこと。挑戦していくこと。間違わないこと。仲間の人と仲良くし、やさしくすること。物事は、はっきり言うこと」「ドーナツが食べたいです。ポンディングが食べたいです。特に、チョコレートのドーナツが食べたいです。18個〜30個ぐらい食べたいです。鼻血がでないようにしたいです」などがありました。（パソ工房取材班）

平成23年度のわらしべの家で、印象に残っていることについては、「日帰り旅行」が1位でした。アンケートをとり始めた2006年から6年連続で、思い出工場出荷量ナンバーワンを保っていることになりました。

「今、思っていること」や、「考えていること」については、

### 新任挨拶

施設長 金坂 尚慶

本年度わらしべの家は35名の仲間達でスタートしました。

こちらに来てまず驚いたのが、仲間みんなの元気一杯の笑顔です。朝の元気な挨拶に始まり、お昼休みのカラオケやおしゃべりなどのびのびと思いきいに楽しんでいる時間。帰りの会での元気なラジオ体操。そして作業時間には作業へ真剣に取り組む姿。楽しいだけではなく、「やることはしっかり」というメリハリのある1日の流れがあります。

ある仲間に「わらしべは楽しい?」と質問したところ「楽しい!仲間みんなとずっと通いたい!」と返答があり、仲間と職員さんとの信頼関係や仲間同士での絆がしっかりと築かれていることを感じ、嬉しく思うとともに、この環境をしっかりと守って行かねばと背筋の伸びる思いでした。

前任の橋本洋子施設長を始め、職員の方々の御尽力があつて、現在のわらしべのアットホームな雰囲気・仲間の笑顔・仲間の作業へ真剣に取り組む姿があります。

現在の障がい者福祉を取り巻く環境は日々変化しており、障害者自立支援法から障害者総合福祉法への転換により、ますます厳しい状況になることが予想されますが、今後もわらしべの仲間が安心して楽しく通える場所を目指し、職員の皆さんと力を合わせ奮闘して参りますので、地域のみなさまをはじめ関係のみなさまの深いご理解とご支援を心よりお願い致します。

### 「楽しかった」ゆーあい工房まつり

5月20日に第15回ゆーあい工房まつりが開催され、わらしべの家の希望者全員で参加しました。わらしべの家のお店を開ける開店準備班が、会場についたところには日曜日ということもあって多くの人たちが訪れ、迫力のある和太鼓演奏に耳を傾けたり、話に花を咲かせている人たちもいました。そんな会場でわらしべの家は、ゆーあい工房のパン直売所の隣で、「いらっしやいませ!」「ありがとうございました!」さをり織りなどの自主製品販売や「T事業の紹介をして祭りを盛り上げることに協力できました。

13時すぎから会場では「のど自慢」が始まり、市内の施設から出場を希望した仲間たちは、たくさんのお客さんを前に、思い思いに歌を披露し、まつりに花を添えました。中学生で歌ったことを



ゆーあい工房まつりの風景。お客さんを待つ開店準備班。

思い出し「さくら」を歌った仲間、楽しかったです」と、笑顔でした。14時30分、ゆーあい工房まつりは、これまでの歳月でできた地域との絆を再確認し、閉会しました。(混む)

楽しむにしていた5月の連休は、僕にとつて大変な数日間となりました。風邪をひいて咳がひどく、寝ていられず、夜中から椅子に座って起きていました。こんなひどい風邪は、はじめてでした。

休み中は仕事がどうなっているかなと心配でした。風邪が治って通所したら、仕事は同僚がやってくれていました。みんな心配してくれて、ありがたいなと感謝の気持ちでいっぱいです。心配してくれてありがとうございます。わらしべで仕事をすることが私の生きがいです。1日も休まず通い続けて、皆勤賞を4年連続でもらいました。今回は、9日間も休んでしまったので、皆勤賞になりませんが、休まずに通い続けたいです。(範)



### 社会福祉法人わらしべの里

『わらしべの里通信』第27号(通巻41号)  
発行元 社会福祉法人わらしべの里  
発行責任者 金坂 直仁  
編集者 わらしべの家パソ工房  
〒328-0011 栃木市大宮町2708-3  
電話 0282-27-1627  
Fax 0282-27-1675  
E-mail warasi-nk@cc9.ne.jp (事務所)  
http://www.cc9.ne.jp/~warashibenosato/